



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 鈺研工業株式会社

コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 末永 幸紘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長

(氏名) 三輪 美之

TEL 03-6907-7888

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,347	△14.1	342	13.0	343	18.1	320	31.6
27年3月期第2四半期	3,894	13.5	302	4.3	290	2.0	243	3.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 314百万円 (30.5%) 27年3月期第2四半期 241百万円 (3.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	35.74	—
27年3月期第2四半期	27.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第2四半期	7,452		2,836		38.1	316.31		
27年3月期	7,636		2,566		33.6	286.26		

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,836百万円 27年3月期 2,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,540	△9.6	620	△26.7	595	△28.6	525	△25.8	58.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	8,970,111 株	27年3月期	8,970,111 株
28年3月期2Q	3,346 株	27年3月期	3,203 株
28年3月期2Q	8,966,861 株	27年3月期2Q	8,966,912 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期連結決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果もあって、雇用・所得環境の好転、企業収益の改善など景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、中国を始めとするアジア新興国等の景気減速懸念から先行きは不透明な状況となっております。

国内建設市場におきましては、公共投資は総じて弱い動きとなつてはいるものの、企業収益は改善しており、設備投資も持ち直しの動きがみられております。

こうした中、当社グループでは、「2013新中期経営計画」の最終年度である当連結会計年度も引き続き、売上の持続的拡大と収益体質の確立を上位目標とした経営戦略を推し進めており、この計画目標を達成するためにこれらに与えるリスクを抽出し、これらを効果的に対処するためのリスク・マネジメントを強化しております。

当第2四半期連結累計期間は、設備投資の持ち直しにより国内のボーリング機器関連の受注は増加したものの、海外のボーリング機器関連及び工事施工関連の受注が伸び悩んだため、受注高は全体で前年同四半期比6.0%減の4,145百万円となりました。売上高につきましては、ボーリング機器関連は海外の出荷は伸びたものの、国内の売上が大きく減少し、工事施工関連においても海外ODA工事の完工高が低下したため、売上高は前年同四半期に比べ14.1%減少し、3,347百万円となりました。

利益面におきましては、売上原価の改善により、売上高の減少と販売費及び一般管理費の増加を補い、営業利益は342百万円（前年同四半期比13.0%増）、経常利益は343百万円（前年同四半期比18.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は320百万円（前年同四半期比31.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ボーリング機器関連

当セグメントにおきましては、受注については国内では機械本体等の受注が好調に推移しているものの、海外からの受注成約が第3四半期以降にずれ込み、受注高は前年同期比8.0%減の2,390百万円となりました。こうした受注環境下、工場は月産能力5ヶ月分の受注残を抱えフル稼働を続けおりましたが、ボーリング関連機材とツールズ等の国内向け部商品の出荷が当四半期は減少したため、売上高は前年同期比10.5%減の1,913百万円となりました。当セグメントでは引き続き製品原価の低減を推し進めておりますが、売上高の減少と外注費、人件費および試験研究費等の増加により、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比51.2%減の68百万円となりました。

②工事施工関連

当セグメントにおきましては、受注については国内の先進ボーリング工事、大口径立坑掘削工事、温泉工事やオリンピック関連需要の工事の受注は確保したものの伸び悩み、受注高は前年同四半期比3.2%減の1,755百万円となりました。売上高につきましては、国内は大口径立坑掘削工事、トンネル調査工事、アンカー工事を中心に完工高を確保したものの、海外におけるODA水井戸工事が大きく減少したため、売上高全体は、前年同四半期に比べ18.4%減少し、1,434百万円となりました。

利益面におきましては、売上高は減少したものの大型工事の原価率が改善したため、セグメント利益（営業利益）は前年同四半期比68.2%増の273百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して183百万円減少し、7,452百万円となりました。

流動資産は、未成工事支出金が250百万円、仕掛品が150百万円、商品及び製品が110百万円、原材料及び貯蔵品が36百万円増加しましたが、完成工事未収入金が331百万円、受取手形及び売掛金が269百万円、現金及び預金が153百万円減少したことにより前連結会計年度末と比較して192百万円減少し、5,748百万円となりました。

固定資産は、55百万円の減価償却の実施をしましたが、建物及び構築物、機械装置及び運搬具などで60百万円の設備投資を行ったことにより、前連結会計年度末と比較して8百万円増加し、1,704百万円となりました。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して453百万円減少し、4,616百万円となりました。

流動負債は、工事未払金が39百万円増加しましたが、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が331百万円、支払手形及び買掛金が132百万円、未払法人税等が29百万円減少したことにより、前連結会計年度末と比較して496百万円減少し、3,424百万円となりました。

固定負債は、リース債務が8百万円減少しましたが、長期借入金の資金調達等により56百万円増加したことにより、前連結会計年度末と比較して43百万円増加し、1,192百万円となりました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益320百万円等を計上したことにより、2,836百万円となり、自己資本比率は38.1%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結結果計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより、前連結会計年度末に比べ165百万円減少し792百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、247百万円の収入（前年同四半期は89百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益の計上345百万円、売上債権の減少631百万円、未払費用の増加33百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加571百万円、仕入債務の減少92百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、91百万円の支出（前年同四半期は73百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、有形及び無形固定資産の売却による収入5百万円であり、支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出75百万円、定期預金の純増減額11百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、321百万円の支出（前年同四半期は7百万円の収入）となりました。長期借入金は、200百万円の調達を行う一方、約定弁済により136百万円を返済いたしました。短期借入金は342百万円の調達に対し、679百万円を返済し、ファイナンス・リース債務は8百万円を返済いたしました。また、配当金は38百万円の支払いを行いませんでした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年4月27日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成27年10月26日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

(連結業績予想)

売上高	7,540百万円	(前期比	9.6%減)
営業利益	620百万円	(前期比	26.7%減)
経常利益	595百万円	(前期比	28.6%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	525百万円	(前期比	25.8%減)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,039,704	885,994
受取手形及び売掛金	1,819,537	1,550,350
完成工事未収入金	790,577	459,075
商品及び製品	1,166,747	1,277,242
仕掛品	360,798	511,011
未成工事支出金	305,078	555,669
原材料及び貯蔵品	352,116	388,907
その他	110,645	120,601
貸倒引当金	△4,237	△94
流動資産合計	5,940,968	5,748,756
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	507,592	509,700
有形固定資産合計	1,587,158	1,589,266
無形固定資産	21,648	19,740
投資その他の資産		
その他	181,973	182,226
貸倒引当金	△95,104	△86,991
投資その他の資産合計	86,868	95,234
固定資産合計	1,695,675	1,704,241
資産合計	7,636,644	7,452,998

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,660,805	1,528,633
工事未払金	88,243	127,576
短期借入金	906,188	568,294
1年内返済予定の長期借入金	254,640	261,372
未成工事受入金	256,419	261,243
未払法人税等	75,726	46,077
賞与引当金	150,748	151,920
工事損失引当金	18,700	1,586
その他	509,493	477,559
流動負債合計	3,920,964	3,424,262
固定負債		
長期借入金	364,700	421,021
役員退職慰労引当金	85,058	84,926
退職給付に係る負債	460,879	458,815
資産除去債務	11,401	11,471
その他	226,814	215,806
固定負債合計	1,148,853	1,192,040
負債合計	5,069,817	4,616,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	1,240,011	1,515,609
自己株式	△1,341	△1,471
株主資本合計	2,404,090	2,679,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,328	1,440
土地再評価差額金	178,539	178,539
退職給付に係る調整累計額	△18,132	△23,294
その他の包括利益累計額合計	162,735	156,686
非支配株主持分	—	449
純資産合計	2,566,826	2,836,695
負債純資産合計	7,636,644	7,452,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,894,787	3,347,468
売上原価	2,980,001	2,327,370
売上総利益	914,786	1,020,098
販売費及び一般管理費	611,905	677,891
営業利益	302,881	342,206
営業外収益		
受取利息	305	308
受取配当金	97	90
貸倒引当金戻入額	3,433	3,908
為替差益	1,213	1,061
受取保険金	-	3,745
その他	5,496	10,110
営業外収益合計	10,547	19,224
営業外費用		
支払利息	21,221	16,656
支払手数料	287	420
その他	1,191	912
営業外費用合計	22,700	17,989
経常利益	290,727	343,441
特別利益		
固定資産売却益	-	2,561
特別利益合計	-	2,561
特別損失		
災害による損失	6,845	-
ゴルフ会員権売却損	-	49
固定資産除却損	385	62
特別損失合計	7,231	111
税金等調整前四半期純利益	283,495	345,892
法人税、住民税及び事業税	40,123	25,029
法人税等調整額	2	△19
法人税等合計	40,125	25,010
四半期純利益	243,369	320,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	449
親会社株主に帰属する四半期純利益	243,369	320,432

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	243,369	320,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	860	△887
退職給付に係る調整額	△2,895	△5,161
その他の包括利益合計	△2,034	△6,048
四半期包括利益	241,335	314,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241,335	314,383
非支配株主に係る四半期包括利益	—	449

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	283,495	345,892
減価償却費	77,543	55,886
有形及び無形固定資産除却損	385	62
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,724	△12,305
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,358	1,172
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△21,111	△7,225
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	404	270
工事損失引当金の増減額(△は減少)	12,100	△17,113
受取利息及び受取配当金	△403	△399
支払利息	21,221	16,656
為替差損益(△は益)	△159	△117
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	—	△2,561
売上債権の増減額(△は増加)	△246,228	631,204
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△51,988	4,824
前受金の増減額(△は減少)	20,814	38,119
たな卸資産の増減額(△は増加)	△338,741	△571,923
仕入債務の増減額(△は減少)	412,437	△92,839
前渡金の増減額(△は増加)	△2,066	△7,239
未払費用の増減額(△は減少)	53,147	33,680
その他	△15,809	△98,597
小計	200,675	317,444
利息及び配当金の受取額	410	406
利息の支払額	△18,943	△15,901
役員退職慰労金の支払額	△9,375	△700
法人税等の支払額	△83,355	△53,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,411	247,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△11,928
担保預金の預入による支出	△28,106	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△44,209	△75,369
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	5,818
その他	△1,375	△10,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,691	△91,780

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	374,000	342,000
短期借入金の返済による支出	△485,000	△679,894
長期借入れによる収入	300,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△173,830	△136,947
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,137	△8,342
自己株式の取得による支出	—	△129
配当金の支払額	—	△38,163
その他	△5	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,027	△321,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	159	117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22,906	△165,638
現金及び現金同等物の期首残高	923,379	957,845
現金及び現金同等物の四半期末残高	946,286	792,207

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,136,750	1,758,037	3,894,787	—	3,894,787
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,342	—	2,342	△2,342	—
計	2,139,092	1,758,037	3,897,129	△2,342	3,894,787
セグメント利益	140,228	162,708	302,937	△55	302,881

(注) 1. セグメント利益の調整額△55千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ボーリング機 器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	1,913,389	1,434,078	3,347,468	—	3,347,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,980	—	2,980	△2,980	—
計	1,916,370	1,434,078	3,350,448	△2,980	3,347,468
セグメント利益	68,481	273,737	342,219	△13	342,206

(注) 1. セグメント利益の調整額△13千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。